

ITパスポート公開セミナー (CBT 試験対応)

● 出 題 範 囲 (3 分野 9 つの大分類 23 の中分類)

共通キャリア・フレームワーク		試験名称
レベル4	高度な知識・技能	高度試験 (9つの専門区分)
レベル3	応用的知識・技能	応用情報技術者試験
レベル2	基本的知識・技能	基本情報技術者試験
レベル1	職業人に共通に求められる基礎知識	ITパスポート試験

スキルアップ

● ITパスポート試験の概要

試験の位置づけ	経済産業省が実施する「情報処理技術者試験」の一区分であり、職業人として誰もが備えておくべき、情報技術に関する基礎的な知識を測る国家試験である。
受験料	5,100円(支払いはクレジット、コンビニ、バウチャーから)
試験時間	165分 (2時間45分) 時間帯は会場により異なる
出題方式と問題形式	すべて四肢択一。パソコンを用いて試験をおこなう CBT (Computer Based Testing) 方式。電卓使用不可。 (1)小問形式(1問中1設問) (2)中間形式(1問の中に4つの設問がある問題) 1つの状況設定に対し、複数の視点から知識・理解を問う
出題数	100問 全問解答 (選択問題は無し) (1)小問形式: 84問 (2)中間形式: 16問 (4設問×4問)
	3つの分野から出題…【出題数】 分野別出題数 ● ストラテジ系(経営全般)…【35問程度】 ● マネジメント系(IT管理)…【25問程度】 ● テクノロジ系(IT技術)…【40問程度】
合格基準	次の(1)、(2)の両方を満たした場合、合格とする。 (1)総合評価点: 600点以上 / 1000点満点 (2)分野別評価点: 3つの分野ごとに満点の30%以上

試験終了後、画面上に採点結果が表示されます。翌月にWeb上で合格発表があり、後日、合格者には合格証書が送られてきます。

分野	大分類	中分類	主な出題ポイント
ストラテジ系	企業と法務	1 企業活動	(1) ストラテジ(経営全般)【出題率約35%】 ● 企業が情報化を行うのは、業務改善のためです。よって、まずは企業活動や担当業務について、理解していなければなりません。そこで、企業活動や業務に関する知識が問われます。 ● 業務改善を行うには、現状を把握・分析し、解決策を考えなければなりません。よって、データ分析や問題解決のための手法に関する知識が問われます。 ● 企業が守るべき規範や、情報システムを活用する上で守るべき法律に関する知識が問われます。 ● 業務は企業が立てる戦略から生み出されるものです。よって、経営戦略やシステム戦略について、ひとり理解しているかが問われます。
		2 法務	
	経営戦略	3 経営戦略マネジメント	
		4 技術戦略マネジメント	
		5 ビジネスインダストリ	
	システム戦略	6 システム戦略	
		7 システム企画	
マネジメント系	開発支援	8 システム開発技術	(2) マネジメント(IT管理)【出題率約25%】 ● システム開発と運用の支援を行うために、システム開発の流れや見積りの技法、運用に関する知識が問われます。 ● システム開発は「プロジェクト」であり、「プロジェクト」には「マネジメント」が必要です。プロジェクトマネジメントの目的やプロセスの流れなどが問われます。 ● ITサービスの品質を高めるための「サービスマネジメント」について、理解しているかが問われます。
		9 ソフトウェア開発管理技術	
	プロジェクトマネジメント	10 プロジェクトマネジメント	
	サービスマネジメント	11 サービスマネジメント	
テクノロジ系	基礎理論	12 システム監査	(3) テクノロジ(IT技術)【出題率約40%】 ● 基礎的な用語・概念などの知識や、論理的な思考能力が問われます。 ● 利用する情報機器及びシステムを把握するために、コンピュータのハードウェアやソフトウェア、システム構成要素についての基礎知識が問われます。 ● マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティなど、IT社会を生きる上で欠かせない技術要素に関する知識が問われます。 ● 身近な情報システムの安全な利用を行うために必要な基礎知識が問われます。 ● 技術的に専門性の高い問題は出題されません。
		13 基礎理論	
	コンピュータシステム	14 アルゴリズムとプログラミング	
		15 コンピュータ構成要素	
		16 システム構成要素	
		17 ソフトウェア	
	技術要素	18 ハードウェア	
		19 ヒューマンインタフェース	
		20 マルチメディア	
		21 データベース	
		22 ネットワーク	
		23 セキュリティ	

出題範囲は広いので、計画的な学習が必要ですね。

分野ごとに合格基準評価点が定められていますので、すべての分野をまんべんなく学習しておきましょう。

● 本試験問題にチャレンジ!

♪ 各分野の代表的な本試験問題を解いてみましょう。試験当日は、見直しが大切です!!



(1) ストラテジ系

問 1...平成 24 年秋期公開問題 問 5...〔用語選択〕

経営判断や業務遂行などに活用するめに、データベースに蓄積された顧客の購買履歴などのデータを分析して、有用な情報を抽出する手法はどれか。

- ア データクレンジング イ データマイニング
ウ データマネージング エ データモデリング

問 2...平成 24 年秋期公開問題 問 26...〔記述選択〕

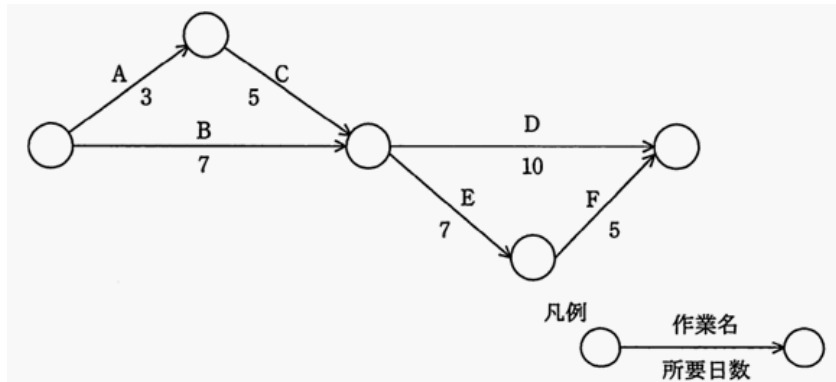
マーケティングミックスの4Pの一つであるプロモーションの戦略には、プッシュ戦略とプル戦略がある。メーカーの販売促進策のうち、プル戦略に該当するものはどれか。

- ア 商品知識やセールストークに関する販売員教育の強化。
イ 販売員を店頭へ派遣する応援販売の実施。
ウ 販売金額や販売量に応じて支払われる販売報奨金の増額。
エ 販売店への客の誘導を図る広告宣伝の投入。

(2) マネジメント系

問 3...平成 23 年春期特別試験 問 48...〔事例〕

図のアローダイアグラムにおいて、作業Bが3日遅れて完了した。全体の遅れを1日にするためには、どの作業を何日短縮すればよいか。



- ア 作業Cを1日短縮する。
ウ 作業Eを1日短縮する。

- イ 作業Dを1日短縮する。
エ どの作業も短縮する必要はない。

問 4...平成 23 年春期特別試験 問 41...〔計算〕

生産性が同じメンバ5名で20日掛かる作業がある。作業開始直前に3名がインフルエンザにかかったので新たなメンバと交代させることにした。新メンバの生産性は当初予定していたメンバの60%の生産性であるとき、20日以下で作業を完了するためには、少なくとも何名の新メンバが必要か。

- ア 4 イ 5 ウ 7 エ 9

(3) テクノロジ系

問 5...平成 24 年秋期公開問題 問 55...〔用語選択〕

複数のハードディスクに同じ内容を書き込み、信頼性を向上させる方式はどれか。

- ア ストライピング イ フラグメンテーション
ウ マルチコア エ ミラーリング

問 6...平成 22 年秋期試験 問 85...〔事例〕

図を描画で表す手法を考える。図1の場合、3×3個の画素を左上から1行ずつ右方向へ1画素ずつ読み取り、黒ならB、白ならWと書くと、“BWBBBBBWB”(9文字)となる。

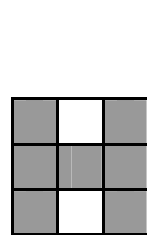


図1

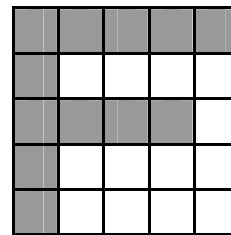


図2

次に、BやWがn文字連続する場合を“Bn”、“Wn”と表す(nは2以上の整数)と、図1は“BWBSWB”(6文字)と表現でき、このときの圧縮率が $6/9 = 66.7\%$ であると定義する。図2の5×5の図形について同じ手法で表現すると、圧縮率は何%か。

- ア 48.0 イ 52.0 ウ 76.0 エ 88.0

過去問題は、年に2回(春期と秋期)に100問ずつWeb上で公開されています。

●月ごとの合格率（過去 6 か月分）

合格率などの統計情報は、実施月の翌月中旬に Web サイト上で公開されます。

	応募者数	受験者数	合格者数	合格率
平成 24 年 4 月	6,758	6,061	1,773	29.3%
平成 24 年 5 月	3,775	3,366	1,353	40.2%
平成 24 年 6 月	4,245	3,922	1,554	39.6%
平成 24 年 7 月	4,797	4,444	1,580	35.6%
平成 24 年 8 月	4,984	4,580	1,750	38.2%
平成 24 年 9 月	6,319	5,789	2,434	42.0%

●CBT 方式の試験について

IT パスポート試験は、平成 23 年 11 月以降、CBT 方式が採用されたことにより、受験者が都合のよい日時・会場を選択して受験できるほか、受験申込みから試験結果の確認までが迅速になっています。（受験申込みは試験前日の午前中まで可能であり、採点結果は試験終了直後に画面上で確認できます。）

受験申込みは、受験日の 3 か月前から行えます。試験会場、試験会場ごとの試験開催日時、申込方法等の詳細については、試験センターの専用サイトに公開されておりますので、詳しくは、試験センターのサイトをご覧ください。

<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

●受験申込み～受験までのおおまかな流れ

- (1) **利用者登録**：試験センターのサイトより、利用者 ID の登録を行う。
- (2) **申込み**：受験料の支払方法がクレジットカード、バウチャーの場合は受験日前日の午前中までに、コンビニの場合は受験日の 5 日前までに、試験センターのサイトから試験会場、試験日、時間帯を指定・予約し、受験番号、利用者 ID、確認コード等が記された「確認票」を印刷しておきます。（試験会場、試験日、時間帯は、予約を行った後でも、試験日の 7 日前までなら変更可能です。）
- (3) **試験当日**：「確認票（又は受験番号・利用者 ID、確認コードをメモしたもの）」と「身分証明書」を持参して試験会場へ行き、受付に提示します。（身分証明書は顔写真付きの本人であることを証明できるもの（パスポート、運転免許証、住民基本台帳カード、外国人登録証など）です。）
受付の指示に従い、ロッカーに荷物を入れ、コンピュータールームに入室。指定された座席に着席し、ログインします。

●試験センターのサイトで、CBT 試験を疑似体験しておこう！

CBT 方式は、これまでのマークシートによる解答方法の試験とは実施方法が大きく変わるため、試験センターでは、受験の前に受験画面や操作方法を体験・確認できるようにすることを目的として「IT パスポート試験疑似体験用ソフトウェア」を公開しています。このソフトウェアは情報処理技術者試験センターの下記ページからダウンロードできます。

https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/guidance/trial_examapp.html

（または試験申込みページ「<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>」のタブ見出し「試験案内」をクリックし「CBT 疑似体験ソフトウェア <ダウンロード>」をクリックして、上記のページへアクセスします。）

*******操作画面の見本*******

(1) ログイン画面

ITパスポート試験 ログイン

IPA[®] ITパスポート試験

現在時刻: 17:07:55

受験番号、利用者ID、確認コードを入力後、試験前のお知らせを確認の上、ログインボタンを押してください。

受験番号

利用者ID

確認コード

ログイン

<<試験前のお知らせ>>

1. 受験者端末にログイン後、試験開始時間になるまでは試験を開始できません。
試験開始時間の1分前にメッセージを表示します。
2. 受験者端末にログインすると、同意事項が表示されますので、ご理解の上、「同意する」ボタンを押してください。
3. 「試験終了」ボタンを押すと、試験時間の途中で試験を終了することができます。
4. 試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。
なお、試験問題では、® 及び TM を明記していません。

Ver. 1.0.0.0

- ログイン後に注意事項と操作説明(複数ページ)が表示されます。
- 「試験開始」ボタンをクリックすると、試験開始となり、残り時間が表示されます。

(2) 問題画面 1 (小問形式の問題)

試験番号: IP00000002 残り時間: 165 分 0 秒 白黒反転 背景色変更 文字色変更 表示倍率: 100% 表計算仕様 ヘルプ

氏名: 試験 次郎

問1【ストラテジ】

最近中に発生した電子メールの送信失敗をアプリケーションで開いた。アプリケーションが異常終了した。受け取った電子メールがウイルスを含んでいた可能性が考えられる場合、適切な措置はどれか。

ア PC をネットワークから切り離した後、OS を再インストールをする。
 イ PC をネットワークから切り離した後、悪化にシミュレーション環境の構築に遷移する。
 ウ 現象が再発するかどうか、必要ならアプリケーションを再インストールして現象を調べる。
 エ 社員全員にウイルス駆除の警告の電子メールを送信する。

解答欄: ☐ ア ☐ イ ☐ ウ ☐ エ ☐ 後で見直すためにチェックする

解答状況: 問1 問2 問3 問4 問5 問6 問7 問8 問9 問10

< 前の問へ 次の問へ > 試験終了

表示倍率を変更できます。

表計算の仕様を表示できます。

- 小問形式の問題は、ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系の順に出題されます。
- 問題文を読み、解答欄の「ア、イ、ウ、エ」のうちの一つをクリックして選択します。
- 後で見直したい問題には、チェックボックス「後で見直すためにチェックする」をクリックしておくと、画面左下の「解答状況」欄に印が付きます。
- 「次の問へ」をクリックすると、次の問へ移動します。
- 「前の問へ」をクリックすると、前の問へ移動します。
- 画面左下の「解答状況」欄には、問 1～100 までスクロールして表示できます。問番号をダブルクリックすると、選択した問題にすばやく移動できます。

(3) 問題画面 2 (中間形式の問題)

試験番号: IP00000002 残り時間: 9 分 43 秒 白黒反転 背景色変更 文字色変更 表示倍率: 100% 表計算仕様 ヘルプ

氏名: 試験 次郎

中間D / 問100【テクノロジー】

ある製造メーカーの分科に関する次の記述を読んで、空の欄に答えよ。

A社の営業部では、前年度の販売戦略立案に向けて、前期（会計期間1年）の商品売上高連を次の表で分析することとした。

(1) 売上総利益率：売上高に対する売上総利益の割合。これが大きい場合は、売上高に対して効率よく利益を得ている。
 (2) 商品回転率：一定期間の売上高を平均在庫高で割った値。これが大きい場合は、余分な在庫をもたず効率よく売れている。
 (3) 売上構成比率：売上高に対する各商品の売上割合。売上高の構成から各商品の重要度を見る。

分科には集計ソフトを用いることとし、前期の売上に関する資料を基に図のようなワークシートを作成した。この中、E列、F列の約法、セルA2～H11の範囲を、B列をキーとして降順に並び替えた後に入力する。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	商品名	売上高 (円)	売上 総利益 (円)	売上 総利益 率(%)	平均 在庫高 (円)	商品 回転率 (回)	売上 構成 比率(%)	売上 構成 比率 (%)		ランク
2	商品A	1,780		85.8	120	14.4	14.8			
3	商品B	430		23.4	50	5.2	3.5			
4	商品C	2,630		22.7	220	12	22.3			
5	商品D	4,100		80.3	80	17.5	16.9			

解答欄: ☐ ア ☐ イ ☐ ウ ☐ エ ☐ 後で見直すためにチェックする

残り時間が10分以下となりました。

解答状況: 問1 問2 問3 問4 問5 問6 問7 問8 問9 問100

< 前の問へ 次の問へ > 試験終了

- 中間形式の問題は4問あり、それぞれ、中間A、中間B、中間C、中間Dという中間番号が付けられています。
- 各中間は、4つの設問(問)から構成されています。たとえば、中間Aは問85～88の4問で、中間Dは問97～100の4問で構成されています。
- 中間形式の問題では、左側に問題文本文が、右側に設問が表示されます。
- 4つの設問はタブで切り替えて表示します。
- 「次の問へ」をクリックすると、次の問へ移動します。100問目の場合は問1へ移動します。「前の問へ」をクリックすると、前の問へ移動します。
- 「解答見直し」ボタンで、解答一覧を表示できます。
- 画面右下の「試験終了」をクリックすると、解答を終了して採点に移ります。
- 採点が終了すると、総合評価点・分野別評価点が表示されます。

その他：電卓は使用できません。試験時間中には、机の上に用意されたメモ用紙にメモをとることができます(このメモは持ち帰ることはできません)。

●合格のための対策（初学者を想定しています）

（１）学習に当たっての心得

少なくとも最低限のオフィスツール（ワープロソフト、表計算ソフト、電子メールソフト、Web ブラウザなど）は、あらかじめ使えるようにしておきましょう。
通勤・通学の電車の中など、細切れの時間を有効に使うことを心がけましょう。
新聞の IT 関連・ビジネス関連の記事には、こまめに目を通しましょう。
ストラテジ系、マネジメント系、テクノロジー系でバランスよく得点できるよう、苦手分野を克服するようにしましょう。

合格するまでのプロセスを十分に楽しみましょう。（各学習項目と自身の暮らしや仕事との関わりを確認しながら、視野が広がっていくことを楽しみましょう！）

（２）初学者が用意すべき教材

- a. 試験対策テキスト（出題範囲全般の基礎知識が載っている受験参考書）
- b. 基本問題集（分野別に練習問題・予想問題が載っているもの）
- c. 過去問題集（過去 3～4 回程度の本試験・公開問題が記載されたもの）
- d. それ以前の過去問題（試験サイト上で、平成 21 年春期以降の過去問題（公開問題）及び解答を閲覧することができます。）

- TAC の IT パスポート講座にご参加いただく場合は、教材 a, b, c に加え、実力テスト 3 回分の問題を配布させていただきます。また、講座の最終日に「総合実力テスト」を実施する予定です。

（３）中間形式の問題（100 問中 16 問出題）の対策

- ・小問形式の問題のほかに、**中間形式の問題**が 4 問出題されます（中間 A～D）。これは、1 つの状況設定に対し、複数の視点から知識・理解を問う問題で、1 つの問題が 4 つの設問から構成されます。（4 設問 × A～D の 4 問 = 16 問）
- ・実務で遭遇する身近な場面を取り上げた事例問題であり、知識に加えて文章理解力、図表を読み取る力、思考能力などが要求されます。ただし、問題文はそれほど長文ではなく、設問はすべて 4 択問題ですから、恐れることはありません。
- ・問題集に記載の中間形式の予想問題や過去問題を解いて、出題形式に慣れしておきましょう。（本資料 p6 参照 解答：問 89 イ、問 90 ウ、問 91 イ、問 92 エ）
- ・日ごろからパソコン雑誌や、新聞の IT 関連の記事を意識して読んだりすることを心がければ、「IT 知識」と「文章理解力」の両方が一度に身につきますよ。

●学習手順及びスケジュールプラン（独学者を想定した一例です）

4 か月前 ... 「受験すること」を決意する！

試験対策テキスト（前述の教材 a）または基本問題集（教材 b）をさっと眺めて、自身の得意な分野、不得意な分野を把握しておく。

得意分野については、まず基本問題集（教材 b）の問題を解いてみる。わからない内容や用語については試験対策テキスト（教材 a）で調べ、問題を解きなおす。

3 か月前

苦手分野については、まず試験対策テキスト（教材 a）でじっくり学習し、その後基本問題集（教材 b）の問題を解いてみる。

試験の申込みを行う。（受験申込みは、受験日の 3 か月前から可能です。会場に空きがあれば、受験日前日の午前中までは申込み可能ですが、早めに申し込んだほうが早いうちに心の準備もできますし、計画的に学習を進めることができます。）

新聞や雑誌の IT 関連や、ビジネス戦略関連の記事に目を通すことを習慣づける。（受験参考書に記載のない、新しい用語などが出題されることも多いです。）

2 か月前

IT パスポートの過去問題（教材 c）を解く。

テキストや過去問題を暗記するのではなく、きちんと理屈を理解する。正解以外の選択肢、周辺の知識も Web などで調べ、ノートなどにまとめておく。（過去問題とまったく同じ問題が出題されることは少ないので、暗記だけでは試験対策になりません。）

1 か月前

IT パスポート本試験問題（教材 c、教材 d）を繰り返し解く。

10 日前～試験前日

時間配分の練習をしておく（100 問を 165 分以内で解く）。知識の確認をする。

学習期間には個人差もあると思います。独学で学習される方は、上記をご参考に、ご自身の状況に合わせて、学習スケジュールを立ててみてください。

♪ いかがでしたか？

これを機会に、「IT パスポート試験」にチャレンジしてみませんか？

私達と一緒に、試験勉強を楽しみましょう。



全 100 問のうち、問 85～100 が、4 問 1 組の中間形式の問題となっています。

● 中間形式の問題例（参考資料） 平成 24 年秋期 公開問題より

中間 B 交通費申請システムの導入の検討に関する次の記述を読んで、四つの問いに答えよ。

S 社の企画部では交通費申請システムの導入を検討している。企画部の A さんは、上司の B 課長から"先日のシステム導入検討会の内容をまとめてほしい。まずは、交通費申請に関する現在の問題点とシステムへの要望を整理して、システムがもつべき機能を洗い出すことから始めてはどうだろうか。そして、システム導入の目的を明確にしていくことが大切だね。"との指示を受けた。システム導入検討会のメモは、次のとおりである。

〔システム導入検討会のメモ〕

- (1) 利用区間と申請された金額が正しいかどうかの確認に、最も多くの時間を掛けている。
- (2) 市販のソフトウェアを利用すれば、システム導入費用が安くなるはずである。
- (3) 数日分をまとめて申請できる方法があってもよい。
- (4) 申請書類に記入すべき項目が記入されていないなどの書類の不備が多い。
- (5) 申請書類の計算ミスが多くて、承認までに時間が掛かっている。
- (6) システム導入後も、申請書類の不備やミスは本人が修正して再度提出する。
- (7) 過去に申請したデータを再利用して申請したい。
- (8) 申請後に申請した交通費がいつ支払われるのかが分かるとよい。
- (9) システム導入時には説明会を聞いてほしい。

〔ストラテジ〕

問 89 〔システム導入検討会のメモ〕の中で、交通費申請に関して現時点で発生している問題点を記述しているものはどれか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア (1) と (3) と (5) | イ (1) と (4) と (5) |
| ウ (3) と (4) と (5) | エ (4) と (5) と (6) |

〔ストラテジ〕

問 90 〔システム導入検討会のメモ〕の中で、現時点で発生している問題点ではないが、交通費申請でこれができると便利であるというような、システムへの要望を記述しているものはどれか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア (2) と (3) と (7) | イ (3) と (6) と (9) |
| ウ (3) と (7) と (8) | エ (7) と (8) と (9) |

〔マネジメント〕

問 91 〔システム導入検討会のメモ〕(5)の"申請書類の計算ミスが多くて、承認までに時間が掛かっている。"の原因を調べたところ、合計計算の単純な誤りで、返却された申請書類を申請者が修正して再度提出しているの、承認までに時間が掛かっていることが分かった。これを改善するためにシステムがもつべき機能として、適切なものはどれか。

- ア 申請後に、計算ミスがある申請を検索できる機能
 イ 申請時に、必要な計算を自動的に行う機能
 ウ 申請者が、電卓機能をもったソフトウェアを使えるようにする機能
 エ 申請を承認する上司が、計算ミスを修正することができる機能

〔マネジメント〕

問 92 A さんは、システム導入の目的を"申請手続の効率化"にしたいと考えた。この目的に基づいてシステム導入を進めるに当たり、優先して取り組むべきこととして、適切なものはどれか。

- ア システム説明会を多く開催して、全社員がシステムを使えるようにすること
 イ 市販のソフトウェアを利用して、できるだけ安くシステムを導入すること
 ウ 電子メールを利用して、交通費が支払われる日を連絡すること
 エ 利用区間から金額を設定する機能を導入して、その自動化を図っていくこと